

医療経済研究機構 特別オープンセミナー

医療経済研究機構は、わが国における医療経済および医療・介護政策に関する研究を促進することを目的とした研究機関です。医療・介護政策の発展・向上に資するために、経済学等の手法により、さまざまな事象を実証的に研究しています。あわせて、医療経済等に関する情報の収集・蓄積、普及啓発、ならびにこの分野における専門的研究者の育成等も行っています。

弊機構では、医療・介護に関する事項をテーマとし、各分野の有識者を講師に招聘して医療経済研究会を定期的を開催しております。

通常、賛助会員限定・有料で行っている医療経済研究会について、今回は特別に無料で賛助会員以外の方もご参加いただける特別オープンセミナーを開催いたします。皆様のご参加、お待ち申し上げます。

- 日時：令和6年7月18日(木)16:00-17:30
- 開催方法：オンライン開催 (Zoom)
- 参加費：無料 (賛助会員・一般)
- 演者：医療経済研究機構 副所長 ・ 慶應義塾大学 名誉教授
印南 一路
- テーマ・要旨：「長期収載品の選定療養議論から見る医薬品産業の今後」

2024年度から、長期収載品が選定療養となり、後発医薬品との差額の4分の1が患者負担とされた。選定療養は40年の歴史を持っているが、医薬品に適用されたのは初めてである。選定療養化された部分は、公的医療保険の給付範囲から外れたことになる。今後は、バイオ後続品のあるバイオ医薬品、OTC類似薬についても選定療養化の議論が起きよう。選定療養の制度史と薬価制度・医薬品産業政策の2つの視点から、どうしてこのような政策が実施されたのかを考え、今後は展望したい。

○ お申込み方法:

医療経済研究機構ホームページ内の「セミナー」→「特別セミナー」より
お申込みください

<https://www.ihep.jp/seminar/special-seminar/>

こちらの二次元コードからもお申込みいただけます。



○ お申込期限: **令和6年7月11日(木) 17:00**

[演者プロフィール]

名前: 印南 一路

現職: 医療経済研究機構 副所長
慶應義塾大学 名誉教授

学歴: 東京大学法学部 卒業 (1982年)

ハーバード大学行政大学院 修了 (1988年)

シカゴ大学経営大学院 修了 (1992年)



役職: 経済財政諮問会議一体改革推進員会社会保障WG特別委員、規制改革推進会議医療・介護感染症対策WG専門委員、薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するWG構成員、健康・医療・介護情報利活用検討会構成員、高齢者医薬品適正使用検討会委員(座長)、政策評価にかかる有識者会議委員(医療・公衆衛生WG座長)、医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会構成員、中央社会保険医療協議会公益委員(2011-2017)、一般社団法人日本パブリックアフェアーズ協会アドバイザー

本セミナーに関するお問い合わせは医療経済研究機構企画渉外部 (info@ihep.jp) までお願いします。

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 企画渉外部

東京都港区虎ノ門 1-21-19

東急虎ノ門ビル 3F

TEL:03-3506-8529 MAIL:info@ihep.jp